

子どもたちとの交流が地域を変える！

# グリーン・ツーリズムの輪を広げよう

5月の兵庫県伊丹市立西中学校をはじめ、今年度はこれまでに、1中学校、3高等学校、合計742人の生徒を受け入れました。



ブドウの袋かけ体験



別れを惜しむ生徒

## 修学旅行体験学習 受け入れ農家から

ひつこ

川内ブロック長 近藤 一男さん  
1泊か2泊の短い触れ合いですが、若いころの子育てを思い出します。帰るころにはわが子のように情が入ります。この子たちが成人して世の中に出た時に、薩摩川内の誰々さんの家に泊まったなあ...と思いつつ、楽しんで取り組んでいます。  
タマネギの収穫・植付けなどを提供

## 樋脇ブロック長

四元 勲一さん

どんな体験を？料理は？どこに連れて行くのかなど、若い脳細胞も、子どもたちとのことを考えると活性化します。一生に一度の中学・高校生の修学旅行、その思い出の地が我が家であるという喜びを楽しみながら

味わっています。  
サツマイモ・ヤマイモ、野菜の収穫などを提供

## 入来ブロック長

岩切 慶子さん

思い切って受け入れたら、楽しくてパワーをもらっています。孫と一緒にやっています。上は80歳？から70歳まで4人姉妹で楽しみに受け入れています。楽しい入来ブロックです。皆さんも都会っ子との思い出づくりに参加されませんか。  
箱苗の種まき、稲刈り、わら運びなどを提供

## 東郷ブロック長

新屋 剛さん

受け入れを始めて2年目を迎えました。子どもたちを迎えるたびに、初対面の緊張と別れの寂しさを重ね元気をもらい、楽しんでいきます。また来たいの言葉が労いとなり、次への活力となっています。子どもと過ごす幸せな時間です。  
ブドウ袋かけ、ミカンちぎりなどを提供

## 祁答院ブロック長

高柳 秀信さん

私は、今年度は2回受け入れをさせてもらいましたが、どの生徒も一人ひとり個性があり、とても楽しい2泊3日でした。特に女子生徒が帰る時に泣くので、別れが辛かったですが、また受け入れたいです。  
牛へのえさやり、酪農体験などを提供



牛へのえさやり

酪農体験



生徒と楽しんだ交流会

「旅をする」と元気が出る」といわれていますが、理由はいろいろあるかと思えます。一方、人的交流も元気の源になります。修学旅行生民泊受け入れで実感しております。  
イチゴ農家のわが家では、イチゴ狩りやジャム作り、郷土料理作りなどを楽しんでもらいますが、家族の一員として農作業の体験してもらっています。  
埼玉県の女子高生に、イチゴの手入れ作業をさせたところ、遊び感覚で冗談を言いながら作業をしていたので作業を中断し、私がイチゴ作りへの想いを話しました。その後は私語ひとつなく必死なぐらい作業をしてくれました。  
2泊の民泊体験を終えて帰る日、3人の生徒が感想の手紙を残してくれました。その1人伊藤藤さんの手紙には、「仕事の中に

お父さんが話してくれた「私にとってハウスの中はイチゴに真剣に向き合う場所なんだ」の一言で、自分の心が改まりました。遊びじゃないと改心して、緊張感を持って手伝いました。いろいろ仕事の話を聞いて大変だと思いました。私も将来好きな仕事を見つけたいです。」とありました。都会の若者も思った以上に純粋です。田舎の素朴な環境の中だからでしょうか。  
見送るバスの周りでは、毎回笑顔あり・涙ありの光景が見られ、受け入れ家庭それぞれに感動・交流があったことを物語っています。  
あなたもグリーン・ツーリズム活動をしてみませんか。必ず感動が待っています。  
薩摩川内市グリーン・ツーリズム推進協議会 会長 東 清和

【グリーン・ツーリズムについての問合せ】=本庁観光課 ☎(23)5111(内線1552)

## 九州新幹線 全線開業記念 第22回

# 全国トンボ市民サミット薩摩川内大会

## 大会テーマ

# 残そうベッコウトンボの里



5月14日(土)

## 外来魚釣り大会

■時間...10:00~(受付開始) ■場所...蘭牟田池

## ベッコウトンボ観察会

■時間...13:00~(受付開始)

### バス見学コース

湖畔リゾートホテルいむた→アクアタイム見学→ベッコウトンボ観察会→(株)祁答院蒸留所(焼酎)見学→入来武家屋敷群見学→湖畔リゾートホテルいむた

### 徒歩見学コース

湖畔リゾートホテルいむた→ベッコウトンボ観察会→アクアタイム見学→湖畔リゾートホテルいむた

\*アクアタイム=蘭牟田池の畔にある生態系保存資料館

## 交流会

■時間...18:00~ ■場所...湖畔リゾートホテルいむた

5月15日(日)

■式典...9:30~(開会式、フォト・図画・絵画コンテスト表彰 ほか)

■基調講演...10:20~  
『ラムサール条約登録湿地「蘭牟田池」  
~ベッコウトンボの生態を中心に~  
鹿児島国際大学非常勤講師 成見和總氏

■事例発表...11:30~  
祁答院中学校生徒による事例発表  
『蘭牟田池県立自然公園における環境学習の取組について』

■パネルディスカッション...12:45~  
【コーディネーター】  
●日本蜻蛉学会 会長 松木和雄氏  
【パネリスト】  
●いむた池愛好会 会長 松田俊一氏  
●鹿児島昆虫同好会 幹事 江平憲治氏  
●NPO法人大分トンボの会 理事長 佐藤京子氏

■閉会式...15:20~15:30

## 参加料

■14日...釣り大会200円、昼食代500円、バス見学コース1,000円、徒歩見学コース160円、交流会4,000円  
■15日...資料代500円、昼食代500円

## 参加申込

■申込締切日...3月31日(木)  
■申込先...薩摩川内市祁答院町下手2440 山元正孝トンボ企画委員長  
■申込方法...お問い合わせいただければ、参加申込書を送付します。

## 主催 全国トンボ市民サミット薩摩川内大会実行委員会

協力 全国トンボ市民サミット実行委員会、いむた池愛好会、ベッコウトンボを保護する会、国際財団トンボ学会、日本蜻蛉学会、九州トンボ談話会、鹿児島昆虫同好会

【問合せ】=全国トンボ市民サミット薩摩川内大会実行委員会事務局 ☎080(5420)7915

